

富津市健康づくり推進協議会会議録

1 会議の名称	平成30年度第1回富津市健康づくり推進協議会
2 開催日時	平成30年7月23日(月) 14時00分～15時00分
3 開催場所	富津市役所4階 401会議室
4 審議等事項	(1) 富津市健康づくり推進協議会会長及び副会長の選出 (2) 平成29年度事業実績について (3) 平成30年度事業について (4) 健康ふつつ21(第二次)中間評価及び見直しについて
5 出席者名	小泉義行会長、田中治実副会長、岡根茂委員、庄司憲弘委員、渡辺初美委員、大野泰代委員、永井敏子委員、藤平健司委員、永塚弘委員、野田秀平委員、平野弁一委員、井戸義信委員、渡邊まさ子委員 高橋市長、島津健康福祉部長、下間健康づくり課長、栗本健康づくり課長補佐、鹿島健康づくり係長、佐藤主査、圓川主査、立石主査、吉村主任主事
6 公開又は非公開の別	公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	0人
9 所管課	健康福祉部健康づくり課
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

## 第 1 回富津市健康づくり推進協議会会議録

	発 言 内 容
鹿島係長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会の宣言</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">本日の会議の内容は、富津市情報公開条例第 23 条の規定により公開となる。傍聴人はいない。</p> <p style="margin-left: 40px;">1 4 名の委員のうち出席者 1 3 名で過半数を超えているため、富津市健康づくり推進協議会設置要綱第 6 条第 2 項の規定により会議は成立する。</p>
高橋市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長挨拶</li> </ul>
島津部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の紹介</li> <li>・事務局の紹介</li> </ul>
鹿島係長	<p style="margin-left: 40px;">次第 4 議題 議題(1)「富津市健康づくり推進協議会会長及び副会長の選出について」、本協議会委員の任期満了に伴い、4 月 1 日付で新たに委嘱したので、現在、会長・副会長が決まっていない。ついては、会長が決まるまでの間、仮議長を部長の島津が務める。了承いただけるか。</p>
全委員	<p style="margin-left: 40px;">異議なし</p>

島津仮議長	<p>会長が決まるまでの間、暫時、仮議長を務める。</p> <p>会長及び副会長の選出方法について、事務局に説明を求める。</p>
鹿島係長	<p>会長及び副会長の選出は、富津市健康づくり推進協議会設置要綱第5条第1項に「本協議会に会長および副会長を置き、それぞれ委員の互選によりこれを定める」と規定されている。</p>
島津仮議長	<p>事務局より選出について説明があったように、それぞれ委員の互選によるということだが、互選の方法は、投票と指名推薦があるが、いかがするか。</p>
大野委員	<p>指名推薦の方法でよいかと思う。</p>
島津仮議長	<p>ただいま、指名推薦という意見があったが、会長及び副会長の選出は、指名推薦の方法で行うことに、異議ないか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
島津仮議長	<p>異議なしと認める。会長及び副会長の選出は指名推薦の方</p>

	<p>法によることとする。</p> <p>会長の推挙をお願いする。</p>
平野委員	<p>会長に、副市長の小泉義行委員を推薦する。</p>
島津仮議長	<p>副市長の小泉義行委員の推薦があつたが、他に推挙される方はないか。</p> <p>なければ、推薦のあつた小泉義行委員を会長ということで、異議ないか。</p>
全委員	<p>異議なし</p>
島津仮議長	<p>異議ないものと認め、会長は小泉義行委員をお願いする。</p> <p>議事の途中であるが、会長が選任されたので、以上で仮議長の職が解かれる。</p>
鹿島係長	<p>議事の進行については、富津市健康づくり推進協議会設置要綱第6条第1項の規定により、会長が議長となるため、小泉会長に議長席に移動を願う。</p>

小泉議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会長挨拶</li> </ul>
	<p>続いて、副会長の推挙をお願いします。</p>
井戸委員	<p>副会長には、前副会長の田中治実委員を推薦する。</p>
小泉議長	<p>ただいま前副会長の田中治実委員の推薦があつたが、他に</p>
	<p>推挙される方はないか。</p>
	<p>なければ、推薦のあつた田中治実委員を副会長ということ</p>
	<p>で異議はないか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
小泉議長	<p>それでは、田中委員に副会長席に移動を願う。</p>
田中副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 副会長挨拶</li> </ul>
小泉議長	<p>議題に入る前に、会議録署名委員を私から指名させていただく。</p>
	<p>会議録署名委員に、永塚弘委員、渡邊まさ子委員のお二方</p>
	<p>をお願いします。</p>

<p>下間課長</p>	<p>議題(2)の「平成29年度事業実績について」に入る。 事務局の説明を求める。</p> <p>平成29年度の事業実績について説明する。</p> <p>会議資料2ページ 目次</p> <p>健康づくり課の事業は、1.健康増進事業、2.母子保健事業、3.予防接種事業、4.特定不妊治療費助成事業、5.がん検診、6.栄養改善事業、7.献血事業、8.自殺対策推進事業、9.特定健康診査等事業、があり、これらについて説明する。</p> <p>4ページ、1.健康増進事業の〔1〕健康増進法による健康診査は、40歳以上の健康保険未加入の方を対象とした健康診査。平成29年度は、対象者146名に対し、23名が受診し、受診率は15.8%。(前年度比較0.5%減)</p> <p>次の〔2〕若年健康診査は、18歳から39歳までの市民で、勤務先で受診の機会の無い方、国民健康保険加入者や社会保険の扶養者を想定して市で独自で実施している。特定健康診査は40歳から始まるので、その前から生活習慣病の発症を予防しようとするもので、406名の方が受診した。</p> <p>次に、〔3〕肝炎ウイルス検診は、C型肝炎、B型肝炎に感染しているかどうかの検査を実施したもの。平成29年度か</p>
-------------	---

ら年齢の上限が撤廃されましたので、対象者が 4,641 名と千人近く増えているが、40 歳以上の方すべて、今まで検査を受けていない方が対象で、5 歳毎に、はがきにより受診勧奨し、373 名の方が、また、勧奨者以外では 93 名の方が受診した。

続いて、5 ページ、〔4〕成人歯科健康診査は、平成 29 年度からの新規事業で、高齢期における健康維持のため、歯周疾患検診をおこなった。対象者を 40 歳、50 歳、60 歳、70 歳の方とし、市内の歯科医療機関で実施した。対象者にはがきで受診勧奨を行い、81 名の方が受診した。

〔5〕健康教育・健康相談は、生活習慣病予防の理解を深めていただくとともに、健康的な日常生活が送れるよう健康や栄養に関する教室などを開催した。

①の健康教育の結果説明会は、11 回開催し、212 名の参加があった。出前講座等は、13 回開催し 379 名の参加があった。健康栄養教室は 3 回開催し 119 名の参加があった。

②の健康相談は、健康診査受診者を対象にその結果を基に、保健指導を行う健康相談は 1,199 名の方に、生活習慣病予防の食事相談を行う栄養相談は 131 名の方に行った。

続いて〔6〕訪問指導は、病気を早期に予防するため、必要に応じて保健師または栄養士が各家庭に訪問いたしまし

た。平成 29 年度は 545 名の方に延べ 581 回行った。

続きまして、6 ページ、2.母子保健事業。

妊娠中の栄養、乳児の離乳食、幼児の食事、乳幼児の生活指導、保健指導を行い、母子の健全な成長を図るための支援を実施した。

〔1〕母子相談は、月齢に沿って細かく教室を開催しており、保健師や栄養士が機会ごとに声をかけ、参加者を増やし、孤立する母子を防ぐなどの支援となっているものと考えている。実施回数、人数については、記載のとおり。

次の〔2〕妊婦乳児健康診査は、健康な妊娠、出産を迎えるため、医療機関で行う健康診査に受診券を発行し補助を行うもの。妊婦健康診査は 14 回分で、延べ 2,348 名。乳児健康診査は 2 回分で 延べ 261 名の受診数だった。

次に、〔3〕1 歳 6 か月児健診・3 歳児健診、これらは母子保健法に基づき行っているもので、1 歳 6 か月児健診は受診者 189 名で、受診率 90.4%、実施回数は 9 回。3 歳児健診は受診者 205 名で、受診率 85.7%、実施回数は 9 回。健診を受けるという認識のない方や、2 人目 3 人目だから、という方もいるが、保健師が電話するなどして参加を呼びかけた。

次の〔4〕母子保健訪問指導等は、妊娠、出産・育児がそ



それぞれの過程で健全に行われるよう、保護者の支援を目的に母子保健指導を実施した。延べ人数は、妊産婦 342 名、新生児 150 名、乳幼児 218 名を訪問した。

続いて、7 ページの 3. 予防接種事業について。予防接種は、予防接種法に基づき、感染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防するため実施しているもので、実績は一覧表に示したとおり。

次に 4. 特定不妊治療費助成事業。

平成 29 年度からの新規の事業で、高額となる不妊治療費の一部を助成する事業でございます。平成 29 年度の助成は 17 件だった。

5. がん検診は、8～10 ページの大腸がんまでの項目について、国の指針に基づき行っております。

まず、〔1〕胃がん検診は、40 歳以上の市民の方を対象に 7 月から 12 月にかけて胃部 X 線間接撮影（バリウム検査）を実施したもので、548 名の方が受診し、受診率は、対象者を住民基本台帳人口の 40 歳以上の人口で算出し、1.7%。

〔2〕子宮がん検診は、20 歳以上の女性を対象に、個別検診（医療機関）では 4 月から 1 月まで、集団検診では 7 月に実施し、個別で 808 名、集団で 281 名の方が受診し、受診率

は 5.5%。

9 ページ、〔3〕乳がん検診は、30 歳以上の女性を対象に、11 月に、超音波検査（エコー）と X 線撮影（マンモグラフィ）を行い、個別で 27 名、集団で 1,369 名の方が受診し、受診率は 7.8%。

次の〔4〕結核・肺がん検診は、40 歳以上の市民の方を対象に胸部 X 線撮影を行ったもの。3,343 名の方が受診し、受診率は 10.7%。

〔5〕喀痰検査は、肺がん検診受診時の問診票にて、喫煙指数（1 日の喫煙数×喫煙年数）が 600 以上（例：1 日 30 本以上喫煙する方で 20 年以上喫煙している）に該当した方などを対象に検査を行うもので、308 名が対象となり、53 名の方が受診した。

次に、10 ページの〔6〕大腸がん検診は、5 月から 12 月にかけて、40 歳以上の市民の方を対象に、便潜血反応検査を実施し 1,227 名の方が受診し受診率は 3.9%。

各種のがん検診については、28 年度は乳がん検診は増加したが、29 年度は子宮がん検診と大腸がん検診が増加した。

対象者への通知は 40 歳になる方のみだったが、今後は 40 歳、50 歳、60 歳、70 歳の方へも勧奨通知を行うなど、勧奨

方法等検討し、受診率向上に努めていきたいと考えている。

続きまして、6.栄養改善事業。

食生活改善推進員の資質向上のために栄養教室や、市の管理栄養士と食生活改善推進員の協働で食生活改善事業を実施した。

栄養教室は、食生活改善推進員に対する情報提供、技術指導等で、11回開催し、延 172名の参加があった。

わくわく栄養教室は、食生活改善推進員になるための養成教室で、隔年で行っているため 29年度の事業は実施なし。

次に、推進員活動支援は、産業まつり等のイベント、健診会場等で推進活動の支援を行ったもので、55回開催し 397名の参加があった。

次に、食生活改善事業は、一般市民対象に健康づくり教室の開催や、地区のイベントの参加など、3回開催し 218名の参加があった。

次に、食育教室は、富津小学校での食育教室と、湊小学校での親子食育教室を行ったもので、86名の参加があった。

次に、7.献血事業は、事業主体は 日本赤十字社千葉県赤十字血液センターで、移動採血車（献血バス）の日程を調整し、市役所の他、市内の事業所等に協力を依頼し行っている。

医療技術の高度化や輸血を多く必要とする高齢者の増加により輸血用血液の重要は年々増えている。市では毎年目標を掲げ実施し、平成 29 年度は、200ml の献血者は需要の面から 34 名にとどまったが、400ml は目標を上回り 996 名の方から協力いただけた。

次の 8.自殺対策推進事業につきましては、自殺対策を総合的に推進するため、市民一人ひとりの気づきと見守りを促すことの周知や自殺予防の啓発を行った。

続いて 11 ページ、訂正があり、本日配布した差し替えをご覧ください。

9.特定健康診査等事業は、国民健康保険加入者の健康の保持増進と、医療保険制度の安定な運営のために「高齢者の医療の確保に関する法律」に規定され義務づけられたもので、〔1〕特定健康診査事業と〔2〕特定保健指導事業を「第二期特定健康診査等実施計画」に基づき行った。

〔1〕の特定健康診査事業は、40 歳以上 74 歳までの国保加入者が対象で、糖尿病などの生活習慣病予防のためメタボリックシンドロームに着目した検査内容で、更に、慢性腎臓病などの予防のためヘモグロビン A1c などの検査を国の項目に追加して行った。

実施方法は、ここで訂正いただき、平成 29 年度から、40 歳から 74 歳までの方、対象者全員が集団検診と個別検診を選択出来るようにした。

期間は 5 月から 8 月まで、自己負担は 500 円、ただし 70 歳以上の方と非課税世帯の方は無料。

ページ下段の成果・進捗状況の表の、中央部分、受診者数は集団健診と個別健診合わせて 4,271 名で、受診率は 45.54%。

また、このページの中段、〔2〕の特定保健指導事業は、特定健診の結果から保健指導が必要となる方を抽出して行うもので、次の 12 ページ、腹囲が基準以上の方や、基準より少なくても BMI が高い方を対象に「動機付け支援」と、更に基準値が高い項目が多い方に「積極的支援」を行った。実施者は両方で 318 名、実施率は 64.37%。

特定健康診査の受診率と特定保健指導実施率は、県内のランキングで上位に位置するが、今後も特定健康診査の受診者を増やし、生活習慣病や慢性腎臓病などの予防に努めて、市民の健康を守っていきたいと考えている。

以上で平成 29 年度事業実績についての説明を終わります。

小泉議長	これより質疑に入る。質問、意見等あるか。
野田委員	<p>予防接種事業について</p> <p>平成 28 年度と比べて、平成 29 年度は改善しているものばかりで非常に良いが、今、国を挙げて麻疹と風疹の予防対策に重点が置かれている。平成 28 年度、麻しん風しん混合 2 期は 81.5%、国の目標水準 95%と比べると大分低く終わってしまっている状況。それに対する救済措置は考えられているか？</p> <p>保健所としては、是非やってほしいとお願いしたい。</p> <p>答弁は結構です。</p>
小泉議長	では、他に質問、意見等はないか。
平野委員	<p>資料 10 ページ、自殺対策について</p> <p>物の本によると、景気の悪い時は自殺者が多く、景気が良くなると自殺者は少なくなるという話がある。平成 10、11 年の頃は年間 3 万人の自殺があった。それが今は 1 万人台になっているというのが、日本全体の話だが、自殺というのは病気が原因なのかわからないが、その辺の事業についてどうい対応をされているのか、どういう状況なのか教えてほし</p>

	<p>い。</p>
<p>小泉議長</p>	<p>事務局に回答を願う。</p>
<p>下間課長</p>	<p>今現在、特に具体的な事業は行っていない。国の自殺対策の推進月間に併せて、広報で周知や啓発を行っている。後に説明する計画にも自殺対策は載せているが、具体的な対策としてはない。今後、国は計画を作るようにとのことなので、今後検討していく予定でいる。</p>
<p>平野委員</p>	<p>景気が良くなれば、自殺者も減ると言うことなので、皆さんの仕事も減るだろうという考えで、特に何か事業をやってほしいという要望ではないが。</p>
<p>小泉議長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>他に質問、意見等はないか。</p> <p>特になければ、次の（３）の「平成３０年度事業について」を議題とする。</p> <p>事務局の説明を求める。</p>

下間課長	<p>会議資料 15 ページ、差し替えとして本日配布資料。</p> <p>委員の方から意見があり、予算額に前年、平成 29 年度の予算額を掲載したものとなる。他の部分の変更はない。</p> <p>最初に、健康増進事業は、健康増進法に基づき健康保険未加入者及び若年層の健康診査を実施し、併せて保健指導や健康教育、健康相談、訪問指導を行うことで、生活習慣病の発症予防や重症化予防を図る。また、肝炎ウイルス検診を実施し、肝がんや肝硬変の発症予防を図る。</p> <p>また、平成 29 年度から実施の成人歯科健診を引き続き実施し、高齢期の歯の喪失予防を図る。</p> <p>予算額は、8,719,000 円、平成 29 年度の予算額は、9,231,000 円。</p> <p>次に、母子保健事業でございますが、母子の健康保持増進を図るため、母親及び乳幼児に対する健康診査、保健指導を実施する。</p> <p>予算額は、25,060,000 円で、平成 29 年度の予算額は、25,610,000 円。</p> <p>なお、平成 29 年度から母子健康手帳を健康づくり課で保健師が面接にて発行することで、すべての妊婦について妊娠期から保健師が関わり、出産、乳幼児期の健診等包括して支</p>
------	---



援しており、母子保健法で規定されている「子育て世代包括支援センター」の機能を果たしていることから、平成 30 年 4 月「富津市子育て世代包括支援センター事業実施要綱」を策定した。

次に予防接種事業でございますが、予防接種法に基づき、感染症の流行を予防し市民の健康維持を図る。

予算額は、78,749,000 円で、平成 29 年度は、81,770,000 円。

続いて、16 ページ。

がん検診事業は、がんによる死亡者数を減少させるため、胃がん、結核肺がん、子宮がん、乳がん、大腸がんの各種がん検診を実施し、がんの早期発見に努めていく。子宮がん、乳がん検診については、該当年齢の方に無料クーポン券を発行し受診してもらえよう勧奨を行う。

また、30 年度は、胃がん、肺がん、大腸がんの検診を受けたらスタンプを押し、3 つのスタンプでゴミ袋を進呈するスタンプラリーを行い、受診率の向上に努めている。

予算額は、29,199,000 円で、平成 29 年度は、27,720,000 円。

次の食生活指導事業は、市民の健康増進のため、富津市食

生活改善推進員を中心に、各種健康づくり教室や栄養相談を開催し、生活習慣の改善指導を行う。

予算額は、332,000 円で、平成 29 年度は、318,000 円。

次に、献血事業。地元協力団体を軸として一層の啓発と献血の推進を図っていく。

予算額は 53,000 円で、平成 29 年度は同額の 53,000 円。

次に、17 ページ、平成 30 年度から新規に行う事業で、妊娠・出産包括支援事業として、産後の母子に対するサポート、「産後ケア」を行う。

予算額は 540,000 円でございます。

次に、特定不妊治療費助成事業。平成 29 年度に引き続き、高額な治療費が必要となる特定不妊治療を受けた夫婦に対しその治療費の一部を助成する。

予算額は、1,800,000 円で、平成 29 年度は 2,500,000 円。

続いて、休日在宅当番医事業は、休日でも市民の健康を守るため、地元医師会の協力をいただきまして、輪番制により実施する。また、歯科医師会の協力にて、年末年始の歯科在宅当番医事業を実施する。

予算額は、2,053,000 円で、平成 29 年度は 2,050,000 円。

次に、君津中央病院、訂正があります。「組合負担金」となっ

ているが、正しくは「企業団負担金」。「君津中央病院企業団負担金」と訂正願う。

君津中央病院は君津地域4市を構成団体として運営、地域医療の中核をなしており、その負担金となる。

予算額は、269,624,000円で、平成29年度は同額、269,624,000円。

次に、18ページをご覧ください。

広域市町村圏事務組合負担金は、夜間の急病に対する医療体制として設置されており、君津郡市夜間急病診療所の運営費、また、休日と夜間に直ちに入院治療を必要とする患者へ対応する施設（二次待機施設）の運営費等に対する負担金で、

予算額は、31,281,000円で、平成29年度は31,876,000円。

最後に、特定健康診査等事業。被保険者の健康の保持増進を行うとともに医療保険制度を安定的に存続させるため『高齢者の医療の確保に関する法律』の規定により医療保険者に義務付けられたもので、平成29年度までの『第二期富津市特定健診等実施計画』の計画期間終了に伴い、昨年度策定した「第三期富津市特定健診等実施計画」に基づいて実施する。

今年度も、どの年齢でも集団健診方式と個別健診方式の選択ができ、また、3年継続受診者には市のゴミ袋を進呈して、

	<p>受診率の向上を目指す。</p> <p>予算額は特定健康診査が、47,820,000円、特定保健指導が、994,000円、平成29年度は、それぞれ48,596,000円と800,000円。</p> <p>以上で、平成30年度健康づくり課の実施事業についての説明を終わる。</p>
小泉議長	これより質疑に入る。質問、意見等あるか。
各委員	挙手なし
小泉議長	<p>特になければ、次の(4)の「健康ふつつ21(第二次)中間評価及び見直しについて」を議題とする。</p> <p>事務局の説明を求める。</p>
栗本 課長補佐	<p>資料19ページと、本日配布の「健康ふつつ21(第二次)」と追加資料。</p> <p>まず追加資料。本計画の主旨として、「健康ふつつ21(第二次)」は、富津市の健康増進事業計画として、国で定めた「健康日本21(第二次)」を基本に、近年の、急速な少子高齢化、</p>

慢性疾患の増加による疾病構造の変化、保健サービスに対する地域住民のニーズの高度化・多様化など、地域保健を取り巻く環境が変化している中で、健やかで心豊かに生活出来る活力ある社会を実現するため策定したものの。

計画策定の背景は、健康増進法に基づき、平成 15 年、国において「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」が策定され、健康増進に関する基本的な方向や目的が定められた。その後、社会の変化に伴い、平成 25 年度から平成 34 年(2022 年) 度までの「21 世紀における第二次国民健康づくり運動」いわゆる「健康日本 21 (第二次)」が策定され、21 世紀のすべての国民が健やかで心豊かに生活出来る活力ある社会を実現し、社会保障制度が持続可能なものとなるよう、基本的な事項が示された。

これをうけ、富津市の健康課題を踏まえた「健康ふつつ 21 (第二次)」を策定した。

計画の内容は、計画書「健康ふつつ 21」の 62 ページ。左側の縦軸に、各取組の項目があり、横軸にはそれぞれの目標値がまとめられている。これらについて、今回中間評価をし、今後につなげるための見直しを行うこととした。

もう一度追加資料。追加資料の下、4.計画期間は、平成 25

年度から平成 34 年(2022 年) 度の 10 年間とし、5 年を目途に中間評価を行う。

次に、今後のスケジュールを説明。

資料の 19 ページ

- ① 第 1 回の健康づくり推進協議会は、本日の会議。
- ② 現在、計画の目標数値などについて 29 年度までの実績を収集・検討しており、これを 9 月末までに（素案）の形にする。
- ③ 素案が作成後、10 月に庁内に意見を聴取。
- ④ その後、健康づくり推進協議会の第 2 回目を開催し、委員の皆様のご意見を伺いたいと考えている。
- ⑤ 庁内及びこの協議会からの意見を反映し、12 月の市議会定例会にて周知したい。
- ⑥ その後にパブリックコメントを行い
- ⑦ 1 月末か 2 月初旬に第 3 回目の健康づくり推進協議会を開催、その後パブリックコメントの結果を報告すると共に、最終的な意見を伺いたいと考えている。
- ⑧ その結果にて、2 月中旬に庁議に諮り、承諾を得たい。
- ⑨ 庁議にて承諾を得たら印刷し、完成後委員の皆様配布すると共に、3 月議会で報告したいと考えている。

	<p>以上。</p>
小泉議長	<p>事務局の説明が終了。</p> <p>これより質疑に入ります。質問、意見等ないか。</p>
渡邊委員	<p>教えてほしい。</p> <p>計画書 62 ページ。市の現状値の数値はどのように出しているのでしょうか。これは、計画作成当時の現状値で、今の現状値は違っていると考えてよいのか。</p>
小泉議長	<p>事務局に説明を求む。</p>
下間課長	<p>この計画書の現状値は作成当時、主に平成 22 年の現状値であり、計画作成から 5 年間取り組んだ今の現状値を今回出して、活動の効果や見直しを検討し、今後、平成 32 年までの目標も検討していく予定。</p>
渡邊委員	<p>健診等の実態、今までの 5 年間の数値をあげて、比較したりするのか。</p>

下間課長	<p>新しい計画を作るのではなく、見直しということになる。</p> <p>形や表をどのように作るかは今後検討となるが、今の現状値を出して見直してみることになる。</p>
小泉議長	<p>他に質問、意見はないか。</p> <p>特になければ、次の「5. その他」、委員から何かあるか。</p>
全委員	<p>特になし。</p>
小泉議長	<p>事務局、何かあるか。</p>
下間課長	<p>議題（4）にて説明した「健康ふつつ21（第二次）中間評価と見直し」について、この会議で意見をいただきたいので、第2回目の会議を10月下旬か、11月上旬を予定している。</p> <p>日程が決まり次第、開催通知を送るのでお願いしたい。</p> <p>また、開催時間を少し早めて、13時30分としたいのでお願いしたい。</p>
小泉議長	<p>他に意見はあるか。</p>
事務局	<p>特になし。</p>



小泉議長	以上をもって、平成30年度第1回富津市健康づくり推進協議会会議を終了する。
------	---------------------------------------